



各 位

NPO放送批評懇談会（担当：中島／福島）

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

<速報>第50回ギャラクシー賞入賞作品決定

平素より当会にはご理解ご支援を賜り、ありがたく御礼申し上げます。

テレビ、ラジオの番組、関係者に贈る賞として50年の歴史を誇る「ギャラクシー賞」の、今年度の入賞作品が決定しました。

テレビ部門、ラジオ部門、CM部門、報道活動部門の入賞作品は別紙のとおりです。

各部門とも、この入賞作品の中から、大賞、優秀賞、選奨が選ばれ、6月3日に開催する贈賞式で発表、表彰いたします。

志賀信夫賞、テレビ部門個人賞、ラジオ部門DJパーソナリティ賞は以下の通り確定いたしました。ぜひ記事にお取り上げいただくとともに、6月3日の贈賞式をご取材いただき、各部門の受賞作品を報道いただくようお願い申し上げます。

■志賀信夫賞（2本）

藤田 潔 ビデオプロモーション取締役名誉会長

TBS [調査情報]

■個人賞

堺 雅人 「リーガルハイ」（フジテレビ）、「大奥～誕生[有功・家光篇]」（TBS）の演技

■DJパーソナリティ賞

ピーター・バラカン

「Barakan Morning」（Inter FM）、「Tokyo Midtown presents The Lifestyle MUSEUM」（TOKYO FM）「ウィークエンドサンシャイン」（NHK）パーソナリティとして

<贈賞式日程>

日時 2013年6月3日（月曜日）贈賞式 16：30～18：30

会場 ウェスティンホテル東京 ギャラクシールーム

東京都目黒区三田1-4-1（恵比寿ガーデンプレイス内） Tel. 03-5423-7000

★5月下旬、第50回ギャラクシー賞のさらに詳しい内容およびマイベストTV賞発表のリリースを予定しています。

第50回ギャラクシー賞入賞作品一覧

[2012年4月1日 ~ 2013年3月31日]

◎志賀信夫賞

藤田 潔
TBS「調査情報」

◎テレビ部門

- 復帰40周年特別番組「ゴリmeets復帰っ子～不惑をむかえた沖縄 2時間激論～」琉球放送
- ザ・ノンフィクション「偏差値じゃない～奇跡の高校将棋部～」フジテレビジョン
- リーガル・ハイ
フジテレビジョン 共同テレビジョン
- 三つの名を生きた兵士たち～台湾先住民“高砂族”の20世紀～
日本放送協会 テムジン NHKエデュケーショナル
- バリバラ「障害者の性① セックスの悩み」
日本放送協会
- こうして僕は医師になる～沖縄県立中部病院 研修日記～
日本放送協会 NHKエンタープライズ
- NHKスペシャル シリーズ東日本大震災「追跡 復興予算19兆円」
日本放送協会
- 東北Zスペシャル「住民合意への道～誰もがいち早い復興を願っていた～」
日本放送協会
- 報道特別番組「標的の村～国に訴えられた東村・高江の住民たち」
琉球朝日放送
- TXN衆院選スペシャル「池上彰の総選挙ライブ」
テレビ東京
- NNNDキュメント'13 3.11大震災シリーズ「活断層と原発、そして廃炉～アメリカ、ドイツ、日本の選択～」
日本テレビ放送網
- はたらく人になろう 大垣特別支援学校2013卒業の春
大垣ケーブルテレビ
- 最高の離婚
フジテレビジョン
- 特集ドラマ「ラジオ」
日本放送協会 テレビマンユニオン NHKエンタープライズ

特別賞

タモリ倶楽部

テレビ朝日 田辺エージェンシー ハウフルス

個人賞

堺 雅人

「リーガル・ハイ」(フジテレビ)、「大奥～誕生[有功・家光篇]」(TBS)の演技

◎報道活動部門

- 続・市営散弾銃射撃場 鉛汚染問題における一連の報道
伊万里ケーブルテレビジョン
- OTVスーパーニュース シリーズ企画「復帰を知る」
沖縄テレビ放送
- 太平洋核実験被害の真実を伝える「放射線を浴びたX年後」映画自主上映を含む報道活動
南海放送
- 南相馬市小高区の農地復旧における一連の報道
福島放送
- 重い病気の子どものための“そらぶちキッズキャンプ”を伝えた一連の報道
北海道テレビ放送
- Jump Over Cancer MBSがん検診啓発キャンペーン
毎日放送

◎ラジオ部門

- 凍えた部屋～姉妹の“孤立死”が問うもの～
北海道放送
- RBCiラジオスペシャル 復帰40周年特別番組 ラジオドラマ「40才のタンカーユーエー」
琉球放送
- 日々感謝。ヒビカン
中国放送
- 特集オーディオドラマ「橋爪功ひとり芝居 おとこのはなし」
日本放送協会
- J-WAVE PLUS 地点 introducing “光のない。”
J-WAVE
- 調律師という芸術家～最高の音楽を作る究極のピアノ調律師
朝日放送
- 三宅裕司 サンデーヒットパラダイス
ニッポン放送
- 報道特別番組「原発作業員が語る2年」
毎日放送

特別賞

小沢昭一さん追悼特別番組～あしたのこころだ…小沢昭一について考える
TBSラジオ&コミュニケーションズ

DJパーソナリティ賞

ピーター・バラカン

「Barakan Morning」(Inter FM)、「Tokyo Midtown presents The Lifestyle MUSEUM」(TOKYO FM)、「ウィークエンドサンシャイン」(NHK) パーソナリティとして

◎CM部門

- 赤城乳業 BLACK シリーズ「じゃない篇」「ガリガリ君の会社篇」「売上篇」
赤城乳業 電通東日本 電通関西支社 アットアームズ
- アステラス製薬 企業 シリーズ「僕は、アステラスのくすり。」
アステラス製薬 博報堂 アンデスフィルム
- 江崎グリコ アーモンドピーク シリーズ「オリエン篇」「ブランニング篇」「プレゼン篇」
江崎グリコ 電通関西支社 東北新社
- 大塚製薬 カロリーメイト「とどけ、熱量。篇」
大塚製薬 博報堂 AOI Pro.
- キヤノンマーケティングジャパン EOS Kiss X6i シリーズEOSはじめてにKissしよう「夏篇」「秋篇」
キヤノンマーケティングジャパン 電通 電通クリエイティブX
- 麒麟ビール 麒麟 のどこしく生> シリーズ のどこしく夢のドリーム「プロレス篇」「バンド再結成篇」
麒麟ビール 電通 ティー・ワイ・オー
- クロスカンパニー earth music&ecology シリーズ2012春「運ぶ篇」2012初夏「ノコギリ篇」2012盛夏「ポート篇」
クロスカンパニー シンガタ トレードマーク 電通西日本 ギークビクチュアズ
- 全日本空輸 60周年 企業 シリーズココロノツバサ「DELHI篇」「MYANMAR篇」「NY篇」
全日本空輸 電通 ロボット
- 東海テレビ放送 公共キャンペーン・スポット「交通事故で、死なない。死なせない。」
東海テレビ放送 電通中部支社
- ナイキジャパン NIKE BASEBALL「宣誓篇」
ナイキジャパン Wieden+Kennedy Tokyo AOI Pro.
- 本田技研工業 企業「負けるもんか(プロダクト)篇」
本田技研工業 電通 TYOモンスター TYOproductions
- ムラタ漢方 梅花五福丸 シリーズ「バッティングセンター」
ムラタ漢方 電通 電通クリエイティブX
- YKK AP 企業 シリーズ「映画と窓」「文学と窓」
YKK AP 電通 エンジンプラス

●テレビ部門は上記ノミネート14本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨10本が選出されます。●ラジオ部門は上記ノミネート8本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨4本が選出されます。●CM部門は上記ノミネート13本から、大賞1本、優秀賞2本、選奨10本が選出されます。●報道活動部門は上記ノミネート6本から、大賞1本、優秀賞2本、選奨3本が選出されます。●最終選考の結果は、6月3日(月)開催「第50回ギャラクシー賞贈賞式」で発表、表彰されます。●テレビ、ラジオのノミネートは放送日順、CMは広告主企業名五十音順、報道活動は申込社(者)名五十音順に記載。

詳しい結果は6月6日(木)発売の「GALAC」2013年7月号に記載いたしますので、ご覧ください



第50回ギャラクシー賞 贈賞式 取材要領

2013年6月3日（月曜日）

ウェスティンホテル東京「ギャラクシールーム」

取材受付15:15、取材開場15:30、開演16:30

取材要領

■ギャラクシー賞贈賞式の取材をご希望の方は、申込書に必要事項をお書き込みのうえ、ファクスでお申し込みください。事前にお申込のない取材はお受けできません。

■スペースの都合により1紙/誌につき1人（カメラ別）、1番組につき1クルーでお願いします。

■撮影希望者（スチール、ムービーとも）は、15:15までに取材受付にご集合ください。（カメラ位置は抽選で決定。ただし申込多数の場合は、抽選によって会場にお入りいただけない場合があります。ご了承ください。）

第50回ギャラクシー賞取材申込書 Fax. 03-5379-5510

ギャラクシー賞贈賞式の取材を申し込みます。

会社名	
媒体名/番組名	
住所 〒	
担当者	Tel.
Email	Fax.
取材人数	スチールカメラ あり なし テレビカメラ あり なし



ギャラクシー賞の概要

◆歴史および概要◆

1963年、民放草創期のこの時期に、テレビとラジオの可能性、影響力に着目し、その発展には必ず“批評”の力が必要であると考えた評論家、研究者、ジャーナリスト、作家らの有志によって創設された放送批評懇談会。ギャラクシー賞は、志ある番組を掘り起こし、制作者たちの番組作りへの情熱に光を当てて顕彰することで現場を鼓舞し、番組の向上・発展を促すことを目的に、会の発足と同時に誕生した。民間の自主的意思を基盤として創設された放送賞の第一号である。表彰は1年単位で、今年で記念すべ第50回（2012年度）を迎えた。

「ギャラクシー」とは、天の川、銀河という訳のほか、佳人・才子の華やかな群れという意味を持つ。放送界にきらめく才能を表すのにふさわしいものとして、放送批評懇談会設立の核となった渋谷秀雄、内村直也、梅田晴夫そして初代のトロフィーをデザインしたガラス作家・岩田糸子らによって賞の名に選ばれた。

今年、ギャラクシー賞は50回を記念してトロフィーを一新。松永真デザインの「バードマン」が新しい賞のシンボルとしてデビューする。

◆賞の特徴◆

ギャラクシー賞設立時には、すでにいくつかの放送賞が存在したが、その多くは「コンクール用に盛装を凝らしたものを対象にした記念行事」（故・白井隆二）だった。白井らは、テレビやラジオが日常に根ざした媒体であることを強く意識し、年間を通じてテレビを視聴しラジオを聴いて番組を批評することを賞の大前提に掲げた。その志は現在まで貫かれ、放送批評懇談会正会員の自主的な視聴活動が賞の土台となっている。

テレビ部門では、審査を担当する選奨委員により月評会（毎月）が開催され、月間賞が選出されている。ラジオ部門も月例会を持ち番組を論じ合う。これらの内容は毎月、月刊誌「GALAC/ぎゃらく」に掲載される。こうした活動により、“放送の現在に向き合う賞”として独自の地歩を固めている。

◆賞の内容◆

テレビ部門、ラジオ部門、CM部門、報道活動部門の4部門制。テレビ部門は月間賞のほか、年2回参加作品募集を行い、両者をあわせた中から年間賞を選出。ラジオ、CM、報道活動は年2回参加作品を募集し、それに審査員の推薦作品を加えて選考し、年間賞を選出。

受賞枠は、＜テレビ部門＞大賞1、優秀賞3、選奨10、特別賞1、個人賞1、＜ラジオ部門＞大賞1、優秀賞3、選奨4、個人賞またはDJパーソナリティ賞1、＜CM部門＞大賞1、優秀賞2、選奨10、＜報道活動部門＞大賞1、優秀賞2、選奨3。ほか、周年には記念賞を設ける場合がある。

また、放送批評懇談会がNPOとなったことを記念して、第44回（2006年度）から視聴者が選考に参加するマイベストTV賞を新設した。



◆審査と表彰◆

時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることの二点が選考の柱。

放送批評懇談会正会員によって組織する選奨事業委員会が審査を担当。審査は、年 2 回(上期・下期)、エントリー作品を受け付けて行う。上期・下期で選出された作品を対象に年間の最終選考がおこなわれ、各賞を決定する。

表彰式は、毎年 6 月初旬に行われる。受賞者には、トロフィーと表彰状が授与される。

「志賀信夫賞」について

■会の設立から発展に貢献のあった日本の放送批評のパイオニア志賀信夫氏(2012 年他界)の長年にわたる放送界への功績を記念して、2009 年度に新設されました。

■本賞は、これまでのギャラクシー賞が受賞対象とする番組制作という枠にとどまらず、広く放送の発展に貢献する大きな業績を成し遂げた個人を表彰します。したがって番組制作だけでなく、放送局やプロダクションの経営、番組制作の支援や放送周辺の分野、放送を中心とするメディアに関わる研究や批評活動など、幅広い分野で近年大きな功績のあった方々を顕彰し、放送の更なる発展に役立てる意図があります。

■志賀信夫 しが・のぶお/1929(昭和 4)~2012(平成 24)。放送評論家。福島県生まれ。53 年早稲田大学大学院文学研究科修了。57 年同大学講師。60 年放送評論家として独立。63 年放送批評懇談会の設立に参加、理事、78 年同理事長。79 年共立女子大学講師。81 年メディアワークショップ代表理事。85 年ビデオ映像文化振興財団理事。90 年多摩大学講師。NAB(全米放送事業者協会)東京セッション実行委員会会長、文化庁芸術祭審査委員、NHK 演出審議委員等を務める。「デジタル時代のパイオニア」(源 遼)、 「BS/CS 衛星放送新時代」(電波新聞社)、「映像の先駆者 125 人の肖像」(NHK 出版)など著書多数。自薦の優れた番組の評論を記録し、関係者の証言を集めるなどした「年間テレビベスト作品」を 30 年にわたり出版。2003 年には、テレビ評論の分野で初めて芸術選奨を受賞。



NPO/特定非営利活動法人 放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

■創立 NPO放送批評懇談会=2005年5月2日(任意団体放送批評懇談会=1963年4月)

■会勢 正会員194名 維持会員137社

■役員

理事長=音好宏 専務理事=橋本隆(総務担当)

常務理事=上滝徹也、小田桐誠、藤田真文(50周年委員長)

名誉会長=清水英夫 監事=隈部紀生、鈴木典之

理事=飯田みか(出版編集委員長)、藤久ミネ(選奨事業委員長)、碓井広義(企画事業委員長)、丹羽美之(選奨事業委員会テレビ部門委員長)、桜井聖子(選奨事業委員会ラジオ部門委員長)、五井千鶴子(選奨事業委員会CM部門委員長)、鈴木嘉一(選奨事業委員会報道活動部門委員長)、滝野俊一(マイベストTV賞プロジェクトリーダー)、石井彰、市村元、入江たのし、川喜田尚、小林毅、坂本衛、嶋田親一、田中早苗、中町綾子、稗田政憲、中島好登(事務局長)

■目的および事業

広く一般市民を対象として、視聴者と放送局・放送制作者が手を携え、放送に関する公平・中立な批評活動等を行い、豊かで優れた番組の創造および放送文化の振興を図り、市民が正確で信頼できる情報を享受し、市民の生活文化の発展に寄与することを目的とする。

(1) 放送に関する書籍や雑誌の出版・編集事業 (2) 優れた放送に関する企画や作品の選奨・表彰事業 (3) 放送に関するセミナーやイベントの企画・開催事業 (4) 放送に関する調査・研究事業 (5) 放送に関する団体や機関への提言事業 (6) 視聴者、放送関係者との交流事業 (7) 放送に関する目的を同じくする国内外の団体等との連携事業 (8) その他、目的を達成するために必要な事業

■主な活動

放送の専門誌 [GALAC/ぎやらく] の編集・発行

放送批評の育成・振興を目的に、放送や番組の問題を様々な角度から取りあげ、研究するテレビ・ラジオの専門誌。番組批評のパイオニア。1967年創刊の「放送批評」誌をリニューアルして、97年5月創刊。

日本を代表する番組賞 [ギャラクシー賞] の選定・表彰

本会創立と同時に1963年に設立された番組賞。審査には本会正会員自身があたり、月間で定例会を持つなど日常性を重んじた丹念な選考作業が特徴。毎年4月から翌3月が対象。テレビ、ラジオ、CM、報道活動の四部門制。それぞれ大賞、優秀賞、選奨、特別賞などを選出。個人賞、DJパーソナリティ賞は個人に贈られる。

視聴者参加型 [ギャラクシー賞マイベストTV賞] の運営・表彰

本会がNPOになったのを記念して誕生した、視聴者が視聴者の手でベスト番組を選ぶテレビ番組賞。毎月投票でノミネート番組を選び、年間一本のグランプリを選出。

[放懇シンポジウム/放懇セミナー] の企画・開催

その時々の放送をめぐる関心事をテーマに、当事者、専門家、研究者とともに放送を考える場を提供し、放送界に積極的な提案、提言を行なう。